



## 6/1 竹中町長が受賞 北海道総合通信局長表彰

6月1日、総務省北海道総合通信局主催の「電波の日・情報通信月間」記念式典が札幌市で行われ、地方創生の推進とICT利活用による戦略的まちづくりと普及展開への貢献が評価されて竹中町長が「情報通信月間」北海道総合通信局長表彰を受賞しました。



## 6/12 観光地域商社 株式会社karch設立

6月12日、観光地域商社の株式会社「karch (カ一チ)」(若杉清一代表取締役)の設立総会が行われました。

株式会社カ一チでは、観光拠点施設の運営や、バイオマス発電を活用した電力の小売販売などを行っていく予定です。

若杉代表取締役は「観光資源を使い、町が稼げる仕組み作りを行っていききたい」と話されました。

## 地域を変えていく新しい力

# 地域おこし協力隊活動報告

TITLE: 深めよう!CSの「輪」

記: 社会教育推進員 橘 大介



平成30年度は、上士幌町CSにとって、大きな出来事がありました。それは、認定こども園に運営協議会が設置され、いよいよ、こども園から中学校までの一連の流れで、「地域とともにある学校づくり」が始まったことです。このことによって、学校(園)・保護者・地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校や園の運営に意見を反映することで、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える体制が整いました。

なぜ、今、CSなのでしょう? (平成30年度には道内市町村の約6割、平成31年度には約8割がCSを導入するそうです!) それは、幼児・児童・生徒の状況に応じたきめ細かい学習支援、生徒指導上の課題への対応、学校安全の確保など、複雑化・困難化した課題を解決し、「生きる力」を育むためには、地域住民の皆さんの適切な支援を得ながら、学校運営の改善を図っていく必要があるからです。

こども園では、「まずは園の活動をよく知ろう!」を合言葉に、運営協議会委員さんや「ゆめ育」応援団の皆さんが、保護者と一緒に園と活動する場を作ろうとしています。そして、「上士幌の子ども達に育てほしい姿とは?」「先生・子どもたちが困っていることは?」など具体的な気づきをもとに、活動を進めようとしています。

3年目を迎えた上士幌町CS。これからも町民の皆さんのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします!



▲こども園人形劇の様子



▲こども園遠足の様子

5月26日  
上士幌中学校



6月2日  
上士幌小学校



6月3日  
糠平小学校



運動会特集



## 5/20 子どもの読書推進事業 「ももんちゃんと遊ぼう」

5月20日、絵本作家のとよたかずひこさんと絵本パフォーマーの岸田典大さんを招き「ももんちゃん遊ぼうinかみしほろ」が生涯学習センターわかにて開催されました。

とよたかずひこさんの指導のもと、幼児や小学生に絵本作り体験を行ったほか、岸田さんのBGMにあわせてリズムカルな読み聞かせなどが行われ、会場は大いに盛り上がりました。

## 5・6月の まちのわだい

6月1日、緑の羽根募金事業の一環で上士幌中学校で植樹が行われ、生徒会6名によりエゾヤマザクラ6本が植樹されました。



緑の羽根募金事業  
上士幌中学校植樹(6月1日)



川柳

豆蒔はすんだか郭公声をかけ  
初夏なのに暖房つけてあたたまる

石坂 田いさ子  
戸田 光

短歌

ベッドより垂らせし己が足みつむ祈りのごとくあさ目覚めると  
ちまちまと毛虫いそぎで這ひるたりあさの舗道まだ人も来ず  
徐々に徐々に深みへたどるわが生かこの頃歩みのもつれ烈しく  
茶をこぼしわが苛立つは年のせい切なく思えどこれもまたよし  
種子からのゴーヤ栽培面白く不思議な形の葉っぱの姿  
暑い中アスパラ刈り取り汗をかき農家の仕事楽しかりけり  
センターで木綿の布にさしこするハートを刺してコースター作る  
サッカーワールドカップ楽しみに日本勝てとテレビを見てる  
オホーツクの海を見下ろす丘に建つロジに三日子らと過ぐせり

石高米松尾 本  
川木木森田野 間  
裕誠真理よし 栗  
子豊也弓恵乃 風



そうですね。

◎はたして日本はどこまで行けるのか!ガンバレ日本!!(同じ年の選手がベテランと呼ばれていて不思議な感じがします)……M

◎6月は運動会シーズンでしたので、小中学校にお邪魔させていただきました。最近の競技種目はなかなかバリエーションに富んでおり見て飽きませんね。先生方、保護者の皆さま方の準備などはさぞかし大変だったかと思います。ご苦労さまでした。しかし、児童生徒の一生懸命な姿を見れば、そんな疲れも吹っ飛びますね!(私は一人身なんでわかりませんが)……T

広報かみしほろ 8月号は7月25日(水) 発行予定

平成30年 5 月末現在の人口

男性	2,436人(+2人)
女性	2,566人(+0人)
人口	5,002人(+2人)
世帯数	2,530世帯(+6世帯)

平成30年度 ふるさと納税寄付金

5 月分 4,246 件  
65,136,015 円

累計 7,349 件  
111,260,015 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。  
※6月15日現在

寄付 (5/16~6/15)

◎5月23日、株式会社土木技術コンサルタント様が、町の振興のため100万円を寄付されました。



上士幌高校です!

文責: 教頭

No. 3  
平成30年  
6月25日

訓練に真剣に参加できる生徒は素敵です。

5月16日(水)に春の避難訓練が行われました。調理室から出火したという想定で教室からグラウンドまで避難しましたが、消防署の方から「私語も少なく動きもスムーズだった」と、お褒めの言葉をいただきました。また、「秋の避難訓練では防火扉や屋内消火栓を使ったワンランク上の訓練を取り入れてはどうか」という助言もいただきました。

町民の方々に一足早く見せちゃいます。

全道各地の高校の制服が紹介される雑誌に掲載される予定の写真をここで一足早くお見せします。1年生3人と2年生2人が快くモデルを引き受けてくれました。



△めったに入ることができない校長室でパチリ!

上士幌高校新聞局通信



高体連集約大会

文責 亀井 司

今年の高体連集約大会が5月24日(木)~26日(土)まで、帯広の森運動公園その他の会場で行われ、卓球部、ソフトテニス部、女子バスケットボール部、サッカー部、陸上部が

出場しました。私も新聞局員として女子バスケットや陸上競技の取材に出向きましたが、いつもはふざけたりしている同級生が、試合に臨むと普段とは雰囲気ガラッと変わり「勝ちたい」という気持ちが強く伝わってきました。屋外競技は2日目の天候が悪く、コンディションも悪い中でしたが、選手たちは雨や寒さに負けずに戦っていました。

今年は残念ながら全道大会に駒を進めた部活はありませんでしたが、真剣な顔で競技に向かう姿は格好いいと思いながら各試合を見ていました。最後に、私は3年間取材に入っていたので、高体連期間中の学校を一度は経験してみたかったとも思います。時間割は3時間でビデオも多いという話を毎年聞くので。



△相手の球を待つ吉田さん(3B)



△試技を終えて笑顔の城丸君(3B)